

第 3 8 6 回 幹 事 会
諸 報 告 事 項

令和 7 年 6 月 3 0 日

日 本 学 術 会 議

Ⅱ 諸 報 告 事 項

ページ

第 1 前回幹事会以降の経過報告

1	会長談話	2
2	会長等出席行事	3
3	委員の辞任	4

第 2 各部・各委員会等報告

1	部会の開催とその議題	4
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	4
3	機能別委員会の開催とその議題	4
4	分野別委員会の開催とその議題	5
5	課題別委員会の開催とその議題	1 0
6	若手アカデミーの開催とその議題	1 0
7	連絡会議の開催とその議題	1 0
8	サイエンスカフェの開催	1 0
9	記録	1 1
1 0	総合科学技術・イノベーション会議報告	1 1
1 1	慶弔	1 1
1 2	意思の表出に係る報告	1 1
1 3	意思の表出（英訳版）に係る報告	1 1
1 4	インパクト・レポート	1 1

第1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長談話

日本学術会議会長談話 「日本学術会議法案の成立を受けて」

日本学術会議の法人化を内容とする、政府提出の「日本学術会議法案」については、6月11日の参議院本会議において可決され、成立しました。

国会における審議を通じて、日本学術会議は、4月15日の総会において採択された声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」及び決議「日本学術会議法案の修正について」に基づき、決議の趣旨、独立性、評価委員、法人発足時及び発足3年後の会員選考を含む会員選考のあり方、財政基盤等について、日本学術会議の考えを述べてまいりました。

国会においては与野党を問わず、これまで日本学術会議が示してきた懸念を中心とした議論が長時間にわたって行われたところであり、参議院においては、日本学術会議の懸念も踏まえた修正案が提出され、審議が行われました。日本学術会議の歴史や過去の活動を振り返りつつ、また未来を見据えて真摯に審議いただいた国会議員の皆様に改めて敬意を表します。また、この間、学協会及び連携会員をはじめ、多くの個人、団体から、法案への懸念が表明されることなどを含めて、日本学術会議への支援を賜りました。改めて御礼を申し上げます。

そもそも、今回の組織改革にあたっては、政府と日本学術会議が互いに議論し、科学者の代表機関である日本学術会議の意見が適切に反映される形での検討が行われることが、本来のあるべき姿でした。しかし、会員任命拒否問題など日本学術会議と政府の間の信頼関係が損なわれた中で議論が始まり、日本学術会議の独立性を損なうのではないかという懸念が払拭されないまま法案が国会に提出されたことの問題については改めて指摘しておかなければなりません。

結果として法案は原案のとおり可決され、日本学術会議が求めてきたような法案の修正には至りませんでした。法案の修正を求める旨の決議を行った日本学術会議としては、国会において日本学術会議の示してきた懸念に関する審議が行われていただけに非常に残念であります。しかしながら、衆議院内閣委員会及び参議院内閣委員会においては、それぞれの委員会を通じた審議を踏まえた附帯決議が採択されたところであり、会員の選任や科学的助言等、運営及び活動における日本学術会議の独立性、自主性及び自律性の尊重、必要な財政支援、日本学術会議が行う勧告、答申等の尊重等について国会の意思として明確に示されました。これらについては、今後の制度設計だけでなく、政府と日本学術会議の関係のあり方において極めて重要なものと受け止めております。そして、日本学術会議に対する指摘については、謙虚に受け止め真摯に対応いたします。

政府においても、法に基づく運用を行うに当たって、これらの附帯決議で示された内容を遵守し、会員の選任や科学的助言等、運営及び活動における日本学術会議の独立性、自主性及び自律性の尊重、必要な財政支援、日本学術会議が行う勧告、答申等の尊重等の点

を十分に踏まえて対応することを強く求めます。また、衆議院及び参議院いずれの附帯決議にも盛り込まれた、令和2（2020）年の会員任命拒否問題についての説明責任を果たすこと、日本学術会議との信頼関係の構築に努めることとされた点についても、法に基づく法令の立案や運用に当たって日本学術会議との十分な対話を行うなど、改めて政府における誠意ある対応を求めます。

法案が成立した今、日本学術会議もまた独立性、自主性、自律性を確保しながらナショナルアカデミーとしての役割を発揮していくためになすべきことをなさねばなりません。声明では、76年の歴史を有し世界の学界と連携して学術の進歩に貢献してきた日本学術会議が、これまで引き継ぎ、そして発展させてきた理念や使命が変わらず存続するよう、我々科学者自身で確認し、国民、社会に向けて誓約する必要があることを述べました。それに加え、これからも学術の振興を通じて文化を育み、平和で豊かな社会を作り、安心して生き甲斐があり、健康で文化的な国民生活の維持増進に貢献していくことを、新たな日本学術会議法が成立した今、改めて表明いたします。

そのために、新たな法律の下での日本学術会議のさらなる発展に向けて、日本学術会議においても準備、検討を開始いたします。そして、日本学術会議が自ら主導することで、日本学術会議の継続性を確保し国民や社会の期待に応える制度設計を進めてまいります。また、準備に際しては、政府とのコミュニケーションを図ってまいります。

最後に、今次の日本学術会議のあり方に関する議論を糧として、組織改革だけでなく、世界及び国内の社会課題の解決に寄与しつつ、学術の更なる発展のために自ら行動し、「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」及び「日本学術会議第26期アクションプラン」による自らのさらなる改革を進め、次世代へと引き継ぐことを国民、社会に対し約束するという我々の宣言に従って、今後、活動を進めてまいります。

令和7年6月12日
日本学術会議会長 光石 衛

2 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
5月22日（木）	中国科学技術協会（CAST）会長との会談	光 石 会 長 日 比 谷 副 会 長
6月2日（月）	気象庁気象業務百五十周年記念式典	三 枝 副 会 長
6月10日（火）	日本学士院第115回授賞式	磯 副 会 長
6月11日（水）	坂井大臣との面会	光 石 会 長
6月12日（木）	Gサイエンス学術会議2025 共同声明の総理手交	光 石 会 長 日 比 谷 副 会 長

6月12日（木）	記者会見	光 石 会 長 磯 副 会 長 日 比 谷 副 会 長
6月21日（土）	日本地理学会百周年記念式典	三 枝 副 会 長
6月22日（日）	公開シンポジウム「第2回「ケア・イノベーションの最前動向」」（オンライン）	磯 副 会 長

注）部会、委員会等を除く。

3 委員の辞任

地球惑星科学委員会 地球惑星科学国際連携分科会 IASC 小委員会

山口 一（令和7年6月6日付）

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会 持続可能な開発目標達成のための洋上風力発電開発検討小委員会

笠 宏文（令和7年6月26日付）

第2. 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

（1）第三部拡大役員会（第16回）（6月30日）

- ① 日本学術会議法案について
- ② 2025年度第三部夏季部会について
- ③ 第三部理工系博士人材育成分科会について
- ④ アクションプランの検討状況について
- ⑤ 第三部意思の表出状況について
- ⑥ 第三部予算執行状況について
- ⑦ その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

（1）財務委員会（第4回）（6月25日）

- ① 令和6年度決算報告について

3 機能別委員会の開催とその議題

（1）国際委員会 国際対応戦略立案分科会（第3回）（6月20日）

- ① 第1回国際対応戦略立案分科会の議事要旨の確認について
- ② 加入国際学術団体調査票の審議

- ③ヒアリング対象団体の選定
- ④その他

(2) 国際委員会 (第18回) (6月27日) ※メール審議

- ①国際業務に参画するための連携会員 (特任) の推薦について (1件)

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

(1) 法学委員会・心理学・教育学委員会合同 法と心理学分科会 (第5回)

(5月31日)

- ① 研究報告ならびに質疑

松宮 孝明委員 (立命館大学大学院法務研究科特任教授)

「刑事責任の基礎」

笠井 修委員 (中央大学大学院法務研究科教授)

「契約法学に対する認知心理学・行動意思決定論の応用」

- ② 今後の研究の進め方について

- ③ その他

(2) 法学委員会 リスク社会と法分科会 (第7回) (6月8日)

- ① 報告

「アテンション/データエコノミー下のデジタル社会の課題」

林 秀弥委員 (名古屋大学大学院法学研究科教授)

「デジタル社会の課題：子ども向け広告・マーケティング規制 (EU法を中心に)」

川和 功子委員 (同志社大学法学部教授)

- ② その他

(3) 史学委員会 IUHPST分科会 (第5回) (6月9日)

- ① IUHPST/DHSTおよびDLMPST報告

- ② 加入国際学術団体に係る調査票に関する報告

- ③ その他

(4) 哲学委員会 現代における「いのち」を考える分科会 (第10回) (6月10日)

- ① 「見解」の発出について

- ② 分科会委員の追加について

- ③ その他

(5) 経済学委員会 ワークライフバランス研究分科会 (第2回) (6月10日)

- ① シンポジウムについて

- ② 提言に向けた取り組み

- ③ その他

(6) 史学委員会 教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会 (第4回)
(6月14日)

- ① 歴史実践・歴史認識をめぐる問題の論点整理について
- ② 歴史教育シンポジウム(2025.10.25 開催)について
- ③ その他

(7) 言語・文学委員会 日本文学の伝統と現代社会分科会 (第5回) (6月15日)

- ① 委員からの発表
海野 圭介委員「人文学データの大規模蓄積と研究資源としての利活用に向けて」
- ② 意見交換
- ③ その他

(8) 地域研究委員会 縮小社会の地域構想分科会 (第5回) (6月25日)

- ① 国土交通省国土政策局との意見交換会
- ② シンポジウムに向けて準備すべき事項について
- ③ 意思の表出について
- ④ 各種連絡

(9) 地域研究委員会 地域研究社会連携分科会 (第3回) (6月30日)

- ① 地域研究の社会連携に関する外部ヒアリング
森田 篤士氏
(外務省大臣官房人事課総括補佐／人事企画室首席事務官)
佐藤 邦明氏
(文部科学省高等教育局参事官(国際担当))
- ② 意思の表出(報告)の申出書について
- ③ その他

第二部担当

(1) 臨床医学委員会 感覚器分科会 (第2回) (5月30日)

- ① 五味 文委員の日本学術会議会員就任について
- ② 公開シンポジウムの開催について
- ③ その他

(2) 食料科学委員会 水産学分科会 (第5回) (6月6日)

- ① 公開シンポジウムについて
- ② 報告
- ③ その他

(3) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 遺伝学分科会 (第4回)

(6月11日)

- ① 報告の骨子案の作成について

② その他

(4) 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 出生・発達分科会 (第19回)
(6月11日)

- ① 意思の表出「見解」案の検討
- ② その他

(5) 農学委員会 地域総合農学分科会 (第6回) (6月13日)

- ① 第1回シンポジウムの報告について
- ② 第2回シンポジウムの実施案について
- ③ 第26期とりまとめに係るスケジュールについて
- ④ その他

(6) 農学委員会 植物保護科学分科会 (第7回) (6月20日)

- ① 議事録の承認
- ② 開催懇談会の内容確認 (承認)
- ③ 今年度のシンポジウムの内容
- ④ 第27期発出予定の意思の表出のためのスケジュール
- ⑤ その他

(7) 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会 (第5回) (6月21日)

- ① シンポジウムの開催について
- ② その他

(8) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会 (第2回)
(6月25日)

- ① 2024年度活動実績について
- ② 2025年度活動予定について
- ③ 公開シンポジウム「動物科学の最前線 (4)」の開催について
- ④ その他

(9) 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 出生・発達分科会 (第20回)
(6月25日)

- ① 意思の表出「見解」案の検討
- ② その他

第三部担当

(1) 化学委員会 (第12回)、化学委員会 化学企画分科会 (第5回) 合同会議
(6月4日)

- ① 公開シンポジウム「化学の魅力を小中高校生に、社会に、伝える」について
- ② 今後の活動について

③ その他

(2) 化学委員会・物理学委員会合同 結晶学分科会 (第4回)、化学委員会 IUCr 分科会 (第4回) 合同会議 (6月4日)

【IUCr 分科会】

- ① 日本学術会議の国際学術団体の活動状況調査への対応について
- ② IUCr Commission Member および EC Member 推薦について
- ③ IUCr EC 報告
- ④ その他

【結晶学分科会、IUCr 分科会共通議題】

- ① 公開シンポジウム開催について
- ② その他

(3) 物理学委員会 (第12回) (6月8日)

- ① 総会における、今後の学術会議のあり方の議論報告
- ② 物理学委員会主催または共催のシンポジウム準備状況
- ③ 物理教育分科会主催のシンポジウム準備状況
- ④ 未来の学術振興構想公募について
- ⑤ カーボンニュートラル (ネットゼロ) に関する連絡会議参加について
- ⑥ その他

(4) 数理科学委員会 数学教育分科会 (第3回) (6月12日)

- ① 新学習要領に関する意思の表出のための WG 決定
- ② 学術シンポジウムの計画
- ③ 数学における高校生、大学生向けイベントの実例 (報告と質疑応答)
(東京科学大学 谷田川 友里先生)
- ④ その他

(5) 土木工学・建築学委員会 気候変動と国土の未来分科会 (第6回) (6月13日)

- ① これまでの議論を踏まえて (今回の講演依頼の趣旨も含めて)
- ② 話題提供 (滋賀県立大学・瀧 健太郎先生:
滋賀県で展開している流域治水の取り組み、とくに制度の枠組みと合意形成について)
- ③ 今後の進め方
- ④ その他

(6) 土木工学・建築学委員会 (第14回) (6月16日)

(*12:00~13:00 土木工学・建築学委員会委員のみ)

- ① 各分科会の活動状況報告
- ② 令和7年度全体会について
- ③ その他

[*13:30~17:45 土木工学・建築学委員会委員全体会]

- ④ 趣旨説明
- ⑤ 基調講演
- ⑥ 各分科会からの報告
- ⑦ 本委員会と関係の深い委員会等の活動紹介
- ⑧ その他

(7) 土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会 (第5回)、IRDR 分科会 IRDR 活動推進小委員会 (第5回)、インフラレジリエンス分科会 (第7回)、複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会 (第6回) 合同会議 (6月16日)

- ① 意思の表出に係る進捗の共有
 - ・防災減災学術連携委員会からの見解案
 - ・IRDR 分科会からの「提言」紹介
- ② 意思の表出に係る質疑・意見交換
- ③ 今後の活動の方向性
 - ・フォーラムへの申込
- ④ その他

(8) 土木工学・建築学委員会・環境学委員会合同 カーボンニュートラル都市分科会 (第7回) (6月16日)

- ① ライフサイクルカーボンについて (伊香賀 俊治委員)
- ② ここまでの議論のとりまとめ、共同シンポジウム企画
- ③ その他

(9) 土木工学・建築学委員会 デザインをめぐる知の構築と社会的理解分科会 (第7回) (6月16日)

- ① シンポジウムの振り返り
- ② 今後の活動について
- ③ その他

(10) 材料工学委員会 (第10回) (6月16日)

- ① 研究力強化とダイバーシティに関する講演会 (仮題)
 - 産業技術総合研究所量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル研究センター センター長 (前東京工業大学学長) 益 一哉先生
- ② 関連分科会活動報告について
 - ・ダイバーシティーWG 活動について (中野 裕美委員)
 - ・水素科学 WG 活動について (折茂 慎一委員)
 - ・分科会活動方針 (各分科会委員長より説明)
- ③ その他

(11) 材料工学委員会 新材料デザイン検討分科会 (第2回) (6月17日)

- ① 第1回分科会以降の検討状況

- ② 意思の表出に向けた議論
- ③ 第3回分科会について
- ④ 公開シンポジウムについて
- ⑤ 講演：河野 佳織委員（幹事）
（仮題）地球再興に資する新材料デザインの未来展望～鉄鋼を例に挙げて
- ⑥ その他

（12）地球惑星科学委員会 IUGS 分科会（第7回）（6月20日）

- ① IUGS Geoethics の問題に関して
- ② DDE に関して
- ③ 日本学術会議が加入している国際学術団体の活動状況について
- ④ その他

（13）総合工学委員会・機械工学委員会合同 フロンティア人工物分科会（第5回） （6月20日）

- ① 未来の学術振興構想について
- ② カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議報告
- ③ 人材育成に関する討議
- ④ その他

5 課題別委員会の開催とその議題

（1）防災減災学術連携委員会（第7回）（6月2日）

- ① 秋のぼうさいこくたいの承認
- ② 見解案の読み合わせ

（2）我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会（第9回）（6月16日）

- ① とりまとめの方向について

6 若手アカデミーの開催とその議題

なし

7 連絡会議の開催とその議題

なし

8 サイエンスカフェの開催

なし

9 記録

なし

10 総合科学技術・イノベーション会議報告

1. 本会議

6月4日（水）

2. 専門調査会

6月19日（木）第7回基本計画専門調査会（光石会長欠席）

3. 有識者議員会合

6月5日（木）（光石会長欠席）

6月12日（木）

6月26日（木）

11 慶弔

○弔事

・ご逝去

佐々木 園（ささき その） 令和7年6月25日 享年63歳
現会員（第26-27期）、元連携会員（第24-25期）
京都工芸繊維大学繊維学系教授

12 意思の表出に係る報告

なし

13 意思の表出（英訳版）に係る報告

なし

14 インパクト・レポート

なし